

小丸川「きれいな水」鍋

子どもたち生物調べ確認 高

高鍋自然愛好会(坂田佐二郎会長)と国土交通省高崎河川国道事務所(竹林秀基所長)は、高鍋町の小丸川で子どもたちによる水生生物調査をこのほど行った。約30人が参加。採集した生き物や川の水から小丸川の水質を確かめた。

同事務所高鍋出張所に集まった参加者はバスで竹場橋付近に移動。同事務所調査第一課専門調査員の山田武司さん(34)から生き物採集のポイントを説明された後、ライフジ

ャケットを身に着けて川に入り、石を裏返したり、トレーですくった水をルーペで拡大したりして生き物を採した。

採集後は、川にいた生き物を分類して水質を4段階で評価。ヒラタカゲロウ類やカラゲラ類などがあることを確かめ「きれいな水」と判定した。薬品で水質を調べる簡易検査も行い、生き物がすめる水であることを確かめた。

高鍋西中2年の谷口さくらさん(14)は「少し汚れるだけ



川にむき生き物を調べる子どもたち

でも生き物がすめなくなるとも分かった。水を汚さない

「もう気を付けたい」と話していた。

27.8.8 金日

水鉄砲作り楽しむ

日之影で児童川遊び体験

夏休み中の子どもたちに川遊びの楽しさを伝える「追川自然学校」は5日、日之影町追川集落であった。同集落住民

らでつくる「山寿ふれあいクラブ」(戸高建一会長)が主催し、町内の児童が参加。竹で水鉄砲を作ったり、網で小

27.8.8(日)

魚やカニを捕まえるなど、昔ながらの川遊びを楽しんだ。

町商工会青年部なども協力し、今回で3回目。近年川で遊ぶ機会が減っている子どもたちに、その魅力を伝えようと開催している。

竹を切って筒状にし、穴を開けて水鉄砲にしたほか、そろめん流しや、ヤマメの塩焼き、スタンプが見守る中での遊泳

もした。最初のうちは川の冷たさに体が震える児童もいたが、水に慣れると水鉄砲や網を手に大はしゃぎ。水が顔にかかると、小魚やカニを捕まえては歓声を上げていた。

八戸小4年の瀬川すみれさん(10)は「ヤマメを4匹食べた。水が冷たかったけど、カニを採るのも、泳ぐのも楽しかった」と話していた。



竹で作った水鉄砲などで遊んだ「追川自然学校」